

## 福島第一原子力発電所の滞留水の水位・移送、処理の状況について（4月27日18時現在）

		1号機	2号機	3号機	4号機
滞留水の水位 (4月27日16時時点)	トレンチ立坑水位	水位低下に伴い、測定できず (O.P.+ 850 mm未満)	O.P.+ 3,086 mm (4月27日7時から4 mm下降)	O.P.+ 3,163 mm (4月27日7時から8 mm上昇)	
	タービン建屋水位	O.P.+ 3,254 mm (4月27日7時から11 mm下降)	O.P.+ 3,036 mm (4月27日7時から4 mm下降)	O.P.+ 3,129 mm (4月27日7時から9 mm上昇)	O.P.+ 3,095 mm (4月27日7時から10 mm上昇)
	原子炉建屋水位	O.P.+ 4,174 mm (4月27日7時から11 mm上昇)	O.P.+ 3,221 mm (4月27日7時から10 mm下降)	O.P.+ 3,212 mm (4月27日7時から9 mm上昇)	O.P.+ 3,112 mm (4月27日7時から7 mm上昇)
	集中廃棄物処理施設 における各建屋の水位	プロセス主建屋 高温焼却炉建屋 サイトバンカ建屋	O.P.+ 2,886 mm (初期値からの増加量4,103 mm, 4月27日7時から7 mm上昇) O.P.+ 3,583 mm (初期値からの増加量4,309 mm, 4月27日7時から103 mm上昇) O.P.+ 4,426 mm (床面からの水位630 mm, 4月27日7時から7 mm上昇)		
滞留水の移送状況	1号機	2号機	3号機	4号機	
	1号機タービン建屋地下 2号機タービン建屋地下	2号機タービン建屋地下 集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)			
	移送実施中 (4月27日14時49分～)	移送実施中 (4月14日15時27分～)			
	5・6号機				
	6号機タービン建屋地下 仮設タンク	移送実施	(4月27日10時00分～ 4月27日16時00分)		
水処理設備の運転状況	セシウム吸着装置 : 4月26日9時50分～ 停止中 第二セシウム吸着装置(サリー) : 4月27日12時42分～ 運転中 淡水化装置(逆浸透膜) : 水バランスをみて断続運転* 淡水化装置(蒸発濃縮) : 水バランスをみて断続運転				
その他特記事項	・第二セシウム吸着装置(サリー)において、4月27日8時33分に同装置を一時停止し、フィルタの洗浄を実施。その後、フィルタの洗浄作業が完了したことから、同日12時42分に同装置を起動し、定常流量に到達。 * 4月27日午前9時17分頃、協力企業作業員が淡水化装置(逆浸透膜式)2において水の漏えいを確認(漏えい確認時の水たまりの水の量は約18リットルと推定)。同日午前9時30分、同装置を停止し、漏えい水の床面への滴下を防止するため、漏えい箇所である同装置入口側配管継ぎ手部に対しビニール袋による養生を実施。その後、漏えい箇所周辺の弁を閉めることにより、同日午前10時19分、漏えいの停止を確認。最終的な漏えい水の量は約36リットルで、同装置の堰内にとどまっており、建屋外への流出はない。また、水たまりの表面線量率は線が約7mSv/h、線が約1mSv/hであり、漏えい水の核種分析結果は、ヨウ素131:検出限界値未満、セシウム134:1.5×10 <sup>0</sup> Bq/cm <sup>3</sup> 、セシウム137:2.1×10 <sup>0</sup> Bq/cm <sup>3</sup> 、全ガンマ:4.9×10 <sup>1</sup> Bq/cm <sup>3</sup> 、全ベータ:5.4×10 <sup>4</sup> Bq/cm <sup>3</sup> 。なお、淡水化処理した水は十分にあること、他の淡水化装置は継続して運転していることから、原子炉注水への影響はない。				

水位についてはデータとして速やかに提供させていただく観点から、参考値としてお知らせさせていただいております。